

お | 知 | ら | せ

■ **ジャパンホームショー 2013**
10月23日(水)～25日(金)

会場:東京ビッグサイト 東ホール

今年は「第1回スマートハウス・エコハウス展」との合同開催となります。

- ・JBN展示ゾーン 昨年同様の規模で出展します。
- ・協会員コーナー(30ブース)の出展募集を開始します。
- ・JBN全国大会in広島 でも、同様の出展を予定-
- ・JBNセミナーでは、「中大規模木造建築」、「省エネ・エコ」、「中古住宅流通」の3テーマを予定しています。

昨年の来場登録者数は33,372名で、主な内訳では工務店が10.8%、設計事務所8.1%、内装・リフォーム業6.9%、一般消費者8.9%となっています。昨年の会場の様子がFBでご覧になれます。

http://www.facebook.com/JHBS.Plaza

■ **講習会・セミナー・見学会**

● **第1回大工エキスパートJBNマスターズin広島**

JBN全国大会5周年を機に、JBN独自の木工技能競技大会をスタートさせることになりました。

大会の正式名称は「大工エキスパートJBNマスターズ」に決定しました。エキスパートとはその専門について特にすぐれた才能・技術を持ち、かつ発揮出来る人、マスターズとは達人、腕腕たちが参加する大会を意味します。JBNではこの大会を、工務店の全国組織として大工を社内の正規専門職として、採用・育成・処遇していくためのイベントとして位置づけ、それを内外に広くアピールしながら、周辺環境の整備をすすめていくことにしています。

大工の育成と能力評価、そして処遇、定着につながる新しい仕組みの構築がねらいです。実行委員会を発足させ、具体的な実施要項を固めるために、会員のアンケートを実施中です。

日程は、下記のとおりで全国大会に先立って開催し、大会で優秀者の顕彰を行います。

日程:2013年11月13日(水)・14日(木)

会場:グランドプリンスホテル広島

参加選手(JBN工務店推薦):新人大工部門30名、リーダー大工部門30名

● **「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」と「改正省エネ基準と低炭素建築物認定制度」講習会**

先月号では、4月～6月(予定)のご案内しましたが、「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」に低炭素住宅認定制度についての追記改訂が行われており、下記、①と②は分離して実施することになり、開催は6月以降になる予定です。

会場:東京・名古屋・大阪・福岡・広島・四国(予定)

時間:13:00～17:00(予定)

講習内容

①「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」平成24年度版の主な変更点
省エネルギー対策等級4、省令準耐火構造仕様など、今回、変更になった箇所を中心に、仕様書の利用法などを解説。

テキスト:「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」平成24年度版

講師:(独)住宅金融支援機構 専門職

②「改正省エネ基準と低炭素建築物認定制度」

昨年12月4日の改正省エネルギー基準の公布及び低炭素建築物認定制度の施行を受け、現行基準より抜本的に見直しが見られる省エネルギー基準とともに、同基準をベースとした低炭素建築物認定制度について、外皮の熱性能基準及び一次エネルギー消費量基準の概要・算定方法を中心に、制度利用上必要となる内容を総括的かつ実務的に解説。

講師:(一財)ペタリーリビング 専門職

受講料:1,000円

※フラット35対応・木造住宅工事仕様書をお持ちでない方は、別途テキスト代(1,500円)が必要。

受講対象者:JBN会員又はJBN連携団体所属会員

定員各会場:100～150名

共催:(一社)全国住宅産業地域活性化協議会

問い合わせ先:JBN事務局 坂口

刊行物のご案内

■ **新しい刊行物**

● **「木造建築士資格研修テキスト」平成25年度版配本**

「地域型住宅ブランド化」の信頼できる担い手に木造建築士木造住宅の設計から施工、完成後の点検・維持まで、多岐にわたる情報の把握、知識・経験にもとづく総合的な能力を備えた人材が求められています。木造住宅の品質の確保、性能の表示、評価、検査、生産履歴管理、保証など、新たな法制度によって、建築士でなければ携われない業務も増えています。本書は「木造住宅に精通したスペシャリスト・木造建築士」をめざす人はもちろん、木造住宅の設計・施工管理に携わる人たちの学習専門書となっています。平成25年度の資格試験にあわせて改定増補しました。

JBN・サポートセンター編、藤澤好一監修 2013年2月20日配本

定価3,800円(消費税込)、発行・井上書院

● **「既存住宅の性能向上リフォーム・耐震・断熱で生まれ変わる家」**

既存住宅の性能向上リフォーム研修会用テキスト

国土交通省・平成24年度補助事業「木造住宅等の施工能力向上・継承事業-既存住宅の性能向上リフォーム」により地域工務店ならではの事例にもとづく実務書が刊行されました。

構成 ①性能向上リフォームのすすめ ②北海道発の性能向上リフォームに学ぶ ③事例に学ぶ性能向上リフォーム ④参考情報

刊行2013年2月、A4・69ページ、監修 JBN・サポートセンター

● **木造軸組工法による省令準耐火構造の住宅(第2版)**

旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭に関する機構承認仕様を追加しました。あわせて、住宅金融支援機構監修「木造住宅工事仕様書・19-省令準耐火構造の住宅の仕様」に則った構成に改めました。

刊行2012年9月、A4・118ページ

○ **工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改定しました。**

● **長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)**

長期優良住宅壁量計算の実務研修会用テキスト

刊行2012年11月、A4・75ページ

● **木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル**

長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト

刊行2012年11月、A4・130ページ

● **JBN長期優良住宅(申請マニュアル)**

長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト

刊行2012年11月、A4・162ページ

● **住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務**

先に刊行した「バリアフリーから始める住まいの快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものが多く、工事が終わった段階では撮り直しが出来なかったという苦い経験から本書が作成されました。改修工事を対象に記録写真の撮り方のノウハウから、写真の整理・保管までを判りやすく説明した実務書です。工務店サポートセンター発行、刊行2012年3月、A4・32ページ

● **バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針・事例集**

工務店サポートセンター・増改築委員会編、A4版・102ページ

● **地域工務店のための「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」～木造らしさを生かした防耐火性能の高い家づくり～**

工務店サポートセンター編、A4版・90ページ

● **長期ちきゆう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定**

工務店サポートセンター編、A4版・212ページ

● **同上「手刻みの基本(構造編)」**

工務店サポートセンター編、A4版・24ページ

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。



JBNサポートセンターレポート

Japan Builders Network

■ JBN会員数 会員登録更新期間のためしばらく掲載を中断します。

■ 「いえもり・かるて」登録累計数/4,637件

(2013年3月末日現在)

- **中大規模木造建築を地域工務店の新たな市場に、林野庁「木材利用ポイント」の活用に向けて**
- **活動報告 役員会・青木会長の動き、委員会・WG報告等**
- **地域工務店のソコチカラ、既存改修委員会の活動報告**
- **お知らせ 講習会開催日程・主な刊行物**

2013.May
No.46

発行人:藤澤好一
©工務店サポートセンター 禁無断転載

5月号

中大規模木造建築を地域工務店の新たな市場に

昨年度開発成果を活用し、新たなビジネスチャンスに

4月18日(木) 13:30～16:30、すまいるホールで開催された報告会の概要を紹介いたします。

開会のあいさつに立ったJBN青木宏之会長は、地域工務店の新しい市場として中大規模木造建築に期待している、この成果をマスターして、しっかりと我々のものにしていこう、と呼びかけました。続いて、林野庁木材産業課・飛山龍一課長が式辞を述べるとともに、この日のために準備された「国産材利用の意義」の資料をもとに、木材利用ポイントにも触れ、地域工務店への期待と協力を訴えました。

成果報告に先立って、JBN大型木造研究委員会・山田貴敏委員長から今回の成果がJBN会員相互の連携、東大・腰原研究室との協力、国の助成があって実現した経緯などが述べられました。

基調報告は、今回の開発を全面的に指導・協力された東大・腰原幹雄教授が70分間にわたり、成果と活用について論じました。成果物「中大規模木造建築物の設計施工マニュアル」とスライドを用いた、判りやすく説得力のある解説でした。

その要旨は次の通りです。「公共建築物等における木材利用促進法」などにより中大規模木造建築の実現に追い風が吹いている。それには、「木造住宅」と「中大規模木造建築」との違いをしっかりと認識し、市場に流通している製材品を使い、工務店が得意とする大工技術を中心とした施工法を特徴として、信頼されるものを共有することだ。それには複雑な計算なしで造れること、そのターゲットとして学校建築を想定し、開発をすすめたのが今回の成果だ。まずは床梁としてスパン8m、最大床荷重を3.0kN/m²に耐えられるハイブリッドトラス梁を開

発、製作し、実験によって耐力を確認した。杉材150角・E70を用いたプレカットと専用の接合金物によるものだ。これらデータに基づき、スパンと荷重条件を前提にすれば造れるもので、これをJBNの仕様・工法として実績を増やしていくことで、信頼性の高いJBN標準の確立を目指すべきだ。JBNという団体がみんなできり、改良、普及させることで信頼性が高まり、諸手続きも簡略化され、市場を確保することにもなる。まずは、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の市場のうちから、中大規模木造建築に適合したもの、木造の方が魅力になる建築を対象に取り組んでどうか。JBNという団体として、みんなで使えば、強くなれる、そのことがブランド力になり、シェアの拡大という可能性にもつながる。

・パネルディスカッション「地域工務店と中大規模木造建築」

モデレーターの腰原幹雄、パネラーとして永井馨、松本照夫、功刀友輔、武部豊樹、山田貴敏の6氏(写真、左から)が壇上に登り、開発に関わった指導・金物制作・構造設計・プレカット・施工・木材・総括など、それぞれの立場から、成果の活用の可能性・課題・展望などを討議しました。会場からの意見も加わり、活発で有意義な報告会となりました。



成果を報告する腰原教授



パネル・ディスカッション

林野庁「木材利用ポイント」の活用に向けて JBN説明会を開催

日時:5月20日(月) 13:30～17:00

会場:隣住宅あんしん保証 会議室

東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テプコビル6階

主催:JBN・木材利用ポイントWG

定員:100名(申込順、FAXにて受付/各社1名)

地域材を活用した工事・製品等に対しポイントが付与し、地域の農林水産品等と交換できる木材利用ポイント制度の内容が公表されました。下記、3つの分野の工事・製品で、地域材の使用条件を満たしたものが対象です。

- 1) 木造住宅の新築・増築または購入(最大30万ポイント)
- 2) 住宅の床、内壁及び外壁の木質化工事(最大30万ポイント)
- 3) 木材製品、木質ペレットストーブ等の購入(ポイント付与数、申請方法等は追って公表)

JBN全国大会in広島 2013/設立5周年記念大会

本年11月13日(水)～11月15日(金)の3日間

主催:一般社団法人JBN

一般社団法人広島県工務店協会

11月13日(水) 第1回・大工エキスパートJBNマスターズ

大工育成・定着のための技能競技大会

11月14日(木) 午後・5周年記念全国大会 夜・交流会

11月15日(金) 午前・基調講演・シンポジウム

午後・分科会/エクスカージョン

11月16日(土) 終日・エクスカージョン



会場 グランドプリンスホテル広島

地域を活かし、地域を支える工務店の全国組織・JBNは、一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに新たに発足した全国木造住宅生産体制協議会ならびに都道府県木造住宅生産体制協議会などの関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援と地域活性化に努めてまいります。

暮 節 記 (ぼやき)

既存改修委員会のメンバーが全国各地に出向いて会員から聞き取った事務局への苦言。本誌のお知らせ欄にも関係するが、講習会の案内が遅い、不親切、判りにくい、という声が多かった。とくにFAXによる案内は、文字ばかりでなく、肝心の内容がつかめない、遠くまで出かけた講習会が期待した内容ではなかったという声もあった。FAXは不必要なものも少なくないの目を通さない、となると本誌の「お知らせ」の役割は重い。講習会そのものの注文としては、年間スケジュールをたてて、単発でやるのではなく、毎年定期にやるものを充実してほしい。社員の能力向上に役立つ、JBNのブランド力を高める技術、仕様などの研修、制度やインスペクターなどの資格などの解説、普及に力を入れてほしい、というありがたい提言もいただいた。情報は一方的に発信すれば良いというものではない。受け取る側に立った伝え方がいいか大切に、各地の会員との交流で学んだ成果を活かせるように努めたい。(F)



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

活動報告

前月号以降の活動

○第1304回 役員会 4月16日(火) 15:00~17:00
役員3名、常任理事4名、監事1名、事務局2名 開催場所:JBN役員室

【あいさつ】
・青木会長
新しい年度を迎え、全国組織としてJBNの体制固めをしっかりとすめたい。早急に未組織県をなくしたい。中大規模木造建築の報告会では、メディアを介して会員拡大を図ることになっている。今後、さまざまな機会を通じて、JBNの活動と存在をアピールし、注目されるようにしていきたい。JBN全国大会in広島の開催案内のチラシができあがり次第キャラバン隊を組織して全国にアピールしていきたい。前年度の決算結果は黒字となる見込みで、この機会に整備しなければならぬものを整えた。ようやく軌道にのってきたので、内部の一層の充実が重要である。HPのリニューアルも急ぎたい。
・藤澤センター長

新年度を迎えたのを機に、全国組織JBNとしての活動という視点から、連携団体の方々と対応するようにしている。連携団体数は拡大しつつあるが、いろいろなタイプがある。JBN会員だけで組織されている団体もあるが、そうでない団体もある。JBN正会員を中心とした組織、つまり地域工務店という企業で構成されている組織であり、個人の福利厚生のための集団ではないとの認識でこれからの活動、サポートに取り組みたい。

【主な報告】

- 1) センターレポート(No.45)関連、JBN委員会報告等
- 2) 会員実数、住宅履歴登録数等
- 3) 3月末の財務諸表
- 4) JBN連携団体設立および全木協協定締結状況報告
連携団体として設立準備中の府県は、和歌山県・三重県・石川県・大分県・大阪府
4月9日・静岡県と全木協静岡県協会が協定締結。5月15日・広島県と協定締結予定。
- 5) 国土交通省・林野庁・環境省の補助金実績報告
① 既存住宅の長期優良住宅化を見据えた性能向上リフォームへの取組み
② 現代規矩術による次世代大工育成システムの構築
③ 木造住宅の構造計画の実施と地域の支援体制の構築とリーダーの育成
④ 中大規模木造建物等の普及促進のための構造部材の開発
- 6) 中大規模木造建築成果報告会
4月18日(木)開催のプログラム等

【主な議題】

- 1) JBN連携団体加入申請の件
申請のあった岐阜県産直住宅協会、(一社)関西建築業協議会、山陰木造住宅協会、組合法人筑後地方建築技術者組合、ちば木造建築ネットワーク、さかの木の家研究会、長野県建築大工技能士会、千葉土建一般労働組合の8団体を承認した。
- 2) JBN協会の加入申請の件
申請のあった協会員4社、支援団体1社を承認した。
- 3) JBN都道府県団体認定の件
JBN佐賀県の団体事務局として「さかの木の家研究会」を認定した。
- 4) 住宅・建築物省エネCO₂先導事業のJBN事務局の委託契約の件
平成25年度は、JBN東北チームからの委託継続をしないこととした。
- 5) 平成25年度定期総会の件
6月11日開催の定期総会は、タイム24ビル(江東区)で行うこととした。
- 6) 5月30日臨時理事会の件
事前の資料送付による書面理事会とすることとした。
- 7) 事務局職員等の給与関係等・就業規則の件
細部の調整を大野常任理事に一任し、次回の役員会で再審議することとした。あわせて、役員会等の規定も整理、定款変更も審議することとした。
- 8) 中古住宅流通WG発足の件
実施計画の中で成果目標を明確に示すこと、長はWG長とすることとした。
- 9) 委員会の設置、運営に関する規定の件
センター長と西村常任理事が現委員会で見解を聴取し、委員会組織、設置・運営規定を次回理事会までに原案を作成し、提出することとした。
- 10) ~12) その他の規定に関する件
慶宅に関する規定の件、JBN連携団体に関する規定、JBN連携団体の総会、会合等への会長等の出席に関する内規については、大野常任理事に一任し、和田常任理事が確認することとした。
- 13) 協会員(大規模工務店)の省令準耐火JBN仕様の利用の件
条件付き承認とし、1年間更新を原則とする。そのための協約書を作成し、センター長が確認することとした。
- 14) ベターライフリフォーム協議会への参加の件
参加しないことを決定した。

次回役員会 2013年5月14日(火) 15:00~

青木会長の動き

2013年3月20日~4月18日

- 3月
- ・21日(木) 京阪神木造住宅協会総会出席、講演
 - ・22日(金) 長森延久元執行役員告別式参列
 - ・23日(土) 熊本県優良住宅協会光の森仮設住宅展示場および29社のモデルハウスオープンセレモニー参列
- ・25日(月) 住宅性能評価・表示協会長期優良住宅検討委員会出席、住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会出席
- ・26日(火) 石川県加賀木材増江社長来訪、日本建築士会連合会三井所会長来訪打合せ
- ・27日(水) 地域木造住宅生産体制強化部会出席(部会長)
- 4月
- ・2日(火) 新建ハウジング三浦社長来訪、日経BP社安達氏来訪、住宅産業新聞遠藤記者、日刊木材新聞橋本編集長来訪し、ずれも取材
 - ・9日(火) 佐賀県「さかの木の家研究会」総会講演(右記関連記事)、和田理事、事務局長もハウジングトリビューン(創樹社)中山社長来訪取材、ジャパン建材小川社長来訪、後関常任理事も
 - ・11日(木) センター長、事業部長打合せ
 - ・16日(火) 役員会、新任の木造住宅振興室林田室長と上森専門官来訪懇談
 - ・18日(木) JBN中大規模木造建築セミナー(すまい・いるホール)で挨拶、林野庁木材産業課飛山課長来臨、同懇親会出席

委員会・WG報告

●活動報告 ○活動予定

次世代の会

○第1301回 4月24日(水)~25日(木) 三重県・坂下工務店視察研修
24日 会社概要説明/戸建賃貸/有料高齢者賃貸施設/完成住宅等見学
25日 伊勢神宮周辺街並み建築物等視察 本社/モデルハウス/現場見学/住まいの情報誌

大型木造研究委員会

●平成24年度成果報告会 4月18日(木) 13:30~16:30

参加者:161名 会場:すまい・いるホール
一般流通の製材品を使用し、地域工務店の技術により施工可能な中大規模木造建築の開発成果の報告とJBN会員らによるパネルディスカッション
その後懇親会 参加者:40名

既存改修委員会

●第1301回 4月8日(月) 15:00~17:00

会場:JBN会議室 参加者:5名
委員会は順延し、意見交換
1. 性能向上リフォームのパンフレット制作について
2. ささひ住まいづくりフェア2013出展について
3. 平成25年度の活動について

国産材委員会

●木材利用ポイント説明会準備 4月12日(金) 10:30~11:30

会場:JBN会議室 参加者:2名
1. JBN会員向け説明会、5月中旬を予定(林野庁の制度説明、具体的取り組み方法)に
2. 「対象地域材」、「交換商品」を供給可能なJBN協会のメンバー(事前登録)、JBN加入を前提に入会非会員にも呼び掛け

●平成25年度正副委員長会議 4月18日(木) 11:00~12:30

会場:JBN会議室 参加者:7名
平成25年度国産材委員会活動について

環境委員会

●第1208回 3月27日(水) 14:00~18:00

会場:東京八重洲ホール 参加者:21名
1. 平成25年度の住宅省エネ施策について情報交換
2. 平成24年度第二回住宅・建築物省CO₂先導事業採択企業発表(株)のみや工務店)
3. 省エネ改修リフォーム先導事例発表(株)アライ
4. 平成25年度の家計工コ診断事業(環境省所管)について

○第1301回 5月29日(水) 14:00~

マーケット委員会

●JBNホームページ検討会 4月4日(木) 10:00~12:00

会場:JBN会議室 参加者:7名
1. JBN会員の意見、要望を反映し、利用しやすいホームページへ改編
2. 一般ユーザーが関心、注目するものに(主にトップページ)
3. スマホホームとの連動効果の誘導

中古住宅流通WG

●第1301回 4月18日(木) 16:00~18:00

場所:杉並区 (株)スタイル工房 参加者:9名
1. WG委員に外部専門家を招へい、日経BP社の協力、毎月日経ホームビルダーに記事掲載
2. 先進事例の実地調査、関係者ヒアリング、議論を通じて、JBN型ビジネスモデルを構築

委員会活動について

これまでの委員会活動は、工務店サポートセンターとして、JBN会員への成果の還元、貢献を主たる目的としてきました。全国組織JBNとなり、その活動の範囲、会員への貢献のありかたも一層の拡大と充実をもとめられ、委員会の活動目的、成果目標をより明確にし、より効率的・効果的なものにするべく体制、運営などの見直しを進めております。新年度を機に「中古住宅流通WG」が発足しましたが、これまでの活動の成果も踏まえながら、段階的に新しい体制へ移行することになります。(F)

●佐賀県「さかの木の家研究会」がJBN連携団体に加盟

「さかの木の家研究会」は、地域ブランド化事業への参加を目的として、昨年5月に設立され、今年度よりJBNの連携団体に加盟することになりました。その定時総会が、4月9日(火)15:30より、メートプラザ佐賀で開催されました。会員は47社、うち工務店会員は31社。会長は井本和磨氏(株)井本ホーム代表取締役。この日の参加者は40名でした。JBNから、青木会長、和田常任理事、坂口事務局長が、佐賀県から農林水産商工本部長・林業課・石川和則課長が参加し、祝辞を述べました。青木JBN会長は特別講演「日本の木で、日本の技で、日本の家」で、地域工務店の役割は、地域貢献にあり、家づくりの中心的な役割を果たし、そのためには積極的に情報発信が大切、JBNを最大限に活用してほしいと訴えました。井本会長からは、「家づくりは地域の産業であり、消費者を安心させる団体を目指したい。工務店や職人の後継者が夢をもてる業界にしたい」と抱負が述べられました。参加者からは「全国組織であるJBNに、地方の工務店の現状や意見などを国の施策に反映させるような活動に期待したい」、「JBNの情報発信に期待したい、何が重要で、なにをなすべきの指針を示してほしい」などの意見がありました。



講演するJBN青木会長 挨拶する井本会長

JBN(都道府県)の活動

地域工務店のソコデカラ 第5回

暮らしを楽しめる仕組み創り

JBN三重 会長 坂下 託一

当社は「暮らしを楽しむ 楽しい住まいづくり」をキャッチフレーズに公共建築・マンションから小さな修繕工事まで、あらゆるニーズに対応すべく、様々な工法としっかりとしたマーケティングをもとに、地域密着に徹した工務店経営をしています。毎月のイベントに加えて目玉イベントを繰り返し催すことでファンの獲得、増強をはかっています。また、住まいの資産価値向上を訴え、無料の定期点検、ケアを通じて生涯顧客の定着、管理工務店が不在となった顧客の確保に努めています。とくにリフォーム・修繕工事では大工の仕事が決め手となることから自社の大工が赴くように配慮しています。そのための自社内に大工育成塾をもち、手刻みとプレカットの併用で日常的に技能を高めるようにしています。

なぜリフォーム・修繕工事に自社大工を就かせるのか、リフォームの現場はお客様が住まわれている中での工事になるからです。工程・工期の遵守は当然のことですが、細かな配慮が満足度を大きく左右します。また自社大工が赴くことで、報・連・相がより綿密となり、コスト意識が植え付けられ、さらには若手大工

の技術・マナーなどを高める育成の場となっています。そして、なによりも重視しているのは指名や紹介をいただく近道と考えています。

それだけでなく業域の拡充にも取り組んでいます。長期優良住宅はもちろんのこと、JTI(移住・住みかえ支援機構)の活用による資産形成、ケアマネージャーとの連携、不動産ではオリジナルローコストモデルハウスを展開し、若年層向けの土地建物のセット販売による住宅提供、ワンストップによる中古住宅およびマンションリフォームとその販売・賃貸・管理まで。

今後はJBN三重の代表として県産材使用率を高めること、雇用の創出、防災意識の向上にむけて山側とのさらなる連携、地元工務店との結束による本当の意味での「家まもり」、そのために欠かせない大工の育成など。異業種提携ではお互いに利益が享受でき、地域の工務店の機能が必要とされるようなモデルを追究し、地域が潤い、そして暮らしを楽しめる仕組み創りに積極的に取り組んでいきます。



暮らしを楽しむ家

●活動報告 既存改修委員会

(委員長・玉置敏子、委員16名)

・活動目的

良質な住宅の維持保全と改修・改善の仕事は、地域工務店の重要な役割と認識し、住まい手から信頼され、安心され、評価され報われる仕組みを構築することを活動の基本とし、その成果を広く会員へ還元、共有することを目的とする。

・活動の成果

自らの知識、技術の研鑽のための情報収集やセミナー参加を継続しつつ、高齢者居住安定化事業などの補助事業に取り組み、マニュアル集、指針事例集などにまとめ、これらをテキストに各地域で講習会を開催してきた。また、会員間の交流、他団体との意見交換などにも積極的に取り組んだ。

・これまで成果としての刊行物

- 2011年3月 「バリアフリー改修から始める住まいの快適リフォーム」パンフレット・A4左右折6ページ
- 2011年3月 「国産材でマンション・リフォーム・マンションを快適な木のすまいへ」A4・64ページ
- 2012年1月 「バリアフリー改修から始める住まいの快適リフォーム指針・事例集」A4・102ページ
- 2012年3月 「住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務」A4・32ページ
- 2013年2月 「既存住宅の性能向上リフォーム--耐震・断熱で生まれ変わる家」A4・69ページ
- 作成中 「既存住宅の性能向上リフォームで生まれ変わる家」パンフレット・A4左右折6ページ

・昨年度の主な活動

長期優良住宅化リフォームの必要性を認識し、3か年の取り組み計画をロードマップにした。その初年度として、住宅施策、地域情報の把握をし、会員の既存改修の実態、問題点等を把握し、インスペクションをはじめとするシステムやツールの整備を的確な情報の収集につとめ、各地域の活性化に繋がるよう講習会等で提案していくこと、また工務店だけでなく、住まい手の方への情報発信、取組みも視野に入れ、以下の活動に取り組んだ。

●耐震改修シンポジウム・木造住宅の耐震診断・補強の現状・の開催

2012年8月29日(水) 13:30~17:00 参加者:約70名
▽基調講演 佐久間順三(設計工房佐久間 代表取締役)
・「木造住宅の耐震診断と補強方法」改定のポイント、耐震補強の費用対効果、現況調査の重要性と補強事例など
▽事例発表とディスカッション 司会・玉置敏子/コメンテーター・佐久間順三・築45年の木造2階建住宅の減築を絡めた耐震補強工事・青木哲也(青木工務店)
・耐震と断熱改修の課題 鈴木晴之(大和工務店)
・古民家改修の調査と改修方針 西村慶徳(アルボックス時田)

●「既存住宅の性能向上リフォーム 指針・事例集」の作成と講習会

上記、刊行物にとりまよ、次の6都市(参加者数)で講習会を実施した。2013年2月18日東京(67名)、19日名古屋(39名)、20日大阪(53名)、21日広島(72名)、22日熊本(29名)、25日山形(21名)。

●各地でのヒアリング

ヒアリングを実施した都市(参加した各地JBN会員数)は、次の10地域。青森(5)、山形(7)、富山(7)、山梨(5)、神奈川(3)、名古屋(6)、大阪(4)、広島(5)、高知(4)、宮崎(4)。

要望が多かった意見。あれば活用したいというものでは、顧客との折衝をすすめる上でのポイントなどのマニュアル、差別化するための提案、信頼・安心を得るためのツール類だが、内容は多岐にわたり、また地域差もあり、体系的にまとめるには、経験と事例を蓄積し、情報として共有化できるようにする作業が必要となろう。

これからリフォームを推進、提案していくための最新の情報・知識・そのための研修会を望む声も多かった。各地で生の声を聞き、生きた情報の交換、交流の大切さを再認識し、今後も継続すべきだというのが参加した委員の大方の意見でもあった。

●FAXによるアンケート調査

ヒアリング、講習会に重ねて2月初旬に実施した。発送2,455通に対し、有効回答数(回答率)は441通(18%)だった。現在、集計分析作業中だが、ヒアリングの結果と合わせて、今後の具体的な取組みに反映させたい。アンケート調査にご協力いただいたJBN会員各位には、この紙面で謝意を表します。

バリアフリーから始まった性能向上リフォームの取組みを、さらに長期優良住宅リフォームを見据えた実務、ビジネスレベルの技術、情報、システムとしての成果を出し、広く研修会などを通じて啓蒙活動を推進していくスタートの年度となった。

●一般消費者向けのパブリシティ「地域の工務店ならではの性能向上リフォームのすすめ」

下記の「朝日 住まいづくりフェア2013」の会場で、一般消費者に対する広報活動を展開することになっている。1コマだけだがJBNブースを確保、テーマ「地域の工務店ならではの性能向上リフォームのすすめ」を掲げ、耐震・断熱・バリアフリーで生まれ変わった住まいと地域工務店の取組み事例を、パンフレット(作成中)とパネルをもとに紹介するパブリシティ活動を行う。ヒアリングでも要望が高かった一般消費者への「JBNブランド」の周知活動にも力を入れることにしている。消費者の関心、動向をとらえる機会にもしたい。会員各位のご来場、ご支援を大いに歓迎します。

「住まいづくり・不動産投資セミナー」でJBN青木会長が講演(5月24日(金)15:00~)します。

●朝日 住まいづくりフェア 2013

日時:5月24日(金) 10:00~17:00

会場:東京ビッグサイト 西1・2ホール

朝日 住まいづくりフェア2013 (注文住宅EXPO/住宅リフォームEXPO/住宅設備・建材EXPO/ガレージングEXPO/HOME'S 不動産投資EXPO) スマートハウスEXPO2013

主催:朝日 住まいづくりフェア実行委員会

朝日新聞社/スマートハウスEXPO実行委員会

▽事前登録ページ:http://www.housingworld.jp/entry/

